

早稲田大学と文化交流協定を締結

美濃加茂市出身で早稲田大学の発展に多大な業績を残した坪内逍遙、津田左右吉を顕彰するとともに、美濃加茂市と同大学文化推進部との文化交流を通じ、相互の発展と地域社会の活性化を目的に、文化交流事業に関して相互に支援ならびに協力することに合意して「文化交流に関する協定」を締結しました。

4月6日(金):早稲田大学「大隈会館」(東京都)



つだ そうきち
津田左右吉

1873(明治6)年、現在の下米田町で生まれ、早稲田大学教授として東洋哲学を教えました。古事記や日本書紀を通して実証主義による合理的な歴史学を打ち立てました。1949(昭和24)年文化勲章を受章、1960(昭和35)年に美濃加茂市名誉市民第1号になりました。



つぼうち しょうよう
坪内逍遙

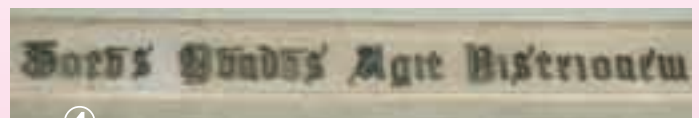
1859(安政6)年、中山道太田宿にあった尾張藩太田代官所役人の子として生まれ、「小説神髓」などを書き、日本文学や演劇の近代化に貢献しました。早稲田大学教授も勤め、早大演劇博物館は、逍遙の古希とシェークスピア全集完訳の偉業を記念して建てられました。



①② 協定書の調印式には、渡辺直由市長と西本武彦早稲田大学文化推進部長が出席、それぞれが協定書に署名をしました。

③ 坪内逍遙像の周りには、ガイドツアーの人たちでにぎわっていました。逍遙が差し出している右手に触れると、早稲田大学と縁ができるとか・・・。

④ 演劇博物館の舞台正面には「世界はすべて劇場である」というラテン語の文字が記されています。



※詳細については、広報みのかも5月15日号でお知らせします